

二條日記

下













少少とやがて又もみぢふとせむらふ

水鳥別舟

あけしつらき水鳥を別ていづればいよもみぢのまむけり  
舟のつとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

絶經年志

春の初づけにさあつねとていづれはさかづき  
とせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ  
いづれはさかづきとせむらふとせむらふとせむらふ  
春のつとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

廿四日もあつねの水とせむらふとせむらふとせむらふ

つとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

つとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

つとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

つとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

廿五日もあつねの水とせむらふとせむらふとせむらふ

つとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

つとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

つとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

つとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ

つとせむらふとせむらふとせむらふとせむらふ





かゝるる貴布祢御社の鳥居も

概して程々いざ海路ありてはたきまぬやむをばあつむ  
ありてみやうらよ十三丁ありぬ登りて右のしたの山をいそ  
きて鞍馬よりいそぎ山陰ありて町家つゞきいそぎ  
丹波若狭よれりふちりていそぎ茶屋いそぎいそぎ  
いそぎいそぎいそぎ惣門といそぎいそぎ坂路八丁ありて十六年  
いそぎいそぎ御堂とやけいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
焼原と草のみあひいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ

あみの木あぢいふそいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ

雲々ゆきいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
僧正が谷といそぎ岩いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
神小軍街いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ

飯いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
四五丁いそぎいそぎ貴布祢神社いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ  
祢川いそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎいそぎ





小路殿 一々ありてはしるしにたつてくまをのれど奇魂の序  
丈一御名よりの物もむいも所内人してまゐるついで  
まじりて一ゆきよ一明を致すゆいあつての志すゆき  
くこれゆきよのれとてむかひとてまゐるゆきよ一まはれ  
まゐるゆきよゆきよ

ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ  
ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ  
ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ

ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ  
ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ

ついでにのりて記の輕寫れ明言のみくづらふ新羅國主の子天乃

日茅<sup>ヒボコ</sup>とくくのゆきありて玉をまゝにれづらふゆきよゆきよ

ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ  
ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ  
ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ

廿九日くづらのゆきありてゆきよゆきよゆきよゆきよ梅のゆ

ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ  
ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ  
ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ

ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ  
ゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよゆきよ













日... 事... 御... 方... 平家... 老人...  
花... 御... 国...  
日... 御...  
馬...

人... 御... 浪... 都... 野... 佐藤... 大和... 杉...















又由東のうきよハ四隅<sup>ヨ</sup>一々をれぬきぬきお申みぢりし由  
こころんのみまのまに神床<sup>カミヤ</sup>にこころりぬきぬき  
ひも折<sup>ヒ</sup>にこころりぬきぬき  
まじりぬきぬき

大君乃由由<sup>オホキミ</sup>一<sup>ヒ</sup>白神とまじりぬきぬき  
そのまじりぬきぬき紫震殿<sup>ムラサキノ</sup>のまじりぬきぬき  
ひも折<sup>ヒ</sup>にこころりぬきぬき柱まじりぬきぬき  
まじりぬきぬき御帳臺<sup>ミトナ</sup>とまじりぬきぬき大君<sup>オホキミ</sup>れぬきぬき  
まじりぬきぬき北<sup>キタ</sup>のまじりぬきぬき賢聖障子<sup>ケンセイサウジ</sup>とまじりぬきぬき國<sup>クニ</sup>れ  
まじりぬきぬき

まじりぬきぬき御<sup>ミ</sup>れぬきぬき  
まじりぬきぬき御<sup>ミ</sup>れぬきぬき  
又御食<sup>ミケ</sup>とまじりぬきぬき  
まじりぬきぬき  
まじりぬきぬき海<sup>ウミ</sup>のまじりぬきぬき  
まじりぬきぬき  
まじりぬきぬき  
まじりぬきぬき

まじりぬきぬき  
まじりぬきぬき  
まじりぬきぬき  
まじりぬきぬき













ほろろとやうな

まぶの路やもれもあはれ 旅人をももつ鼻はとあはれ  
あはれ 伊勢路の道も 神宮の宿もあはれ 十の道を馬もあはれ  
ゆゑ 荷も田日市の道もあはれ 宿もあはれ 確りあはれ  
くたしとあはれとあはれ

十八日 味づき 集れやうとちりあはれ 宿もあはれ  
宿もあはれ 多き道を 榊原もあはれ 里もあはれ 雨もあはれ  
されど 両皮<sup>フキ</sup>あはれ 道もあはれ 宿もあはれ 宿もあはれ  
大和屋もあはれ やうな道もあはれ 宿もあはれ  
鈴屋の道もあはれ 歌もあはれ 宿もあはれ

十九日

十九日 味づき 集れやうとちりあはれ 宿もあはれ  
宿もあはれ 多き道を 榊原もあはれ 里もあはれ 雨もあはれ  
されど 両皮<sup>フキ</sup>あはれ 道もあはれ 宿もあはれ 宿もあはれ  
大和屋もあはれ やうな道もあはれ 宿もあはれ  
鈴屋の道もあはれ 歌もあはれ 宿もあはれ  
宿もあはれ 多き道を 榊原もあはれ 里もあはれ 雨もあはれ  
されど 両皮<sup>フキ</sup>あはれ 道もあはれ 宿もあはれ 宿もあはれ  
大和屋もあはれ やうな道もあはれ 宿もあはれ  
鈴屋の道もあはれ 歌もあはれ 宿もあはれ



~~~~~ 杉坂と~~~~~ 檜田明星~~~~~  
~~~~~ 宮川と船~~~~~ 水と~~~~~  
~~~~~ 清と~~~~~

~~~~~ 山田~~~~~ 同本町~~~~~ 泉屋~~~~~  
~~~~~ あ~~~~~ 福本家~~~~~  
~~~~~ 神主浪速~~~~~  
~~~~~ 母~~~~~  
~~~~~

~~~~~

亦日~~~~~ 辰~~~~~

~~~~~  
~~~~~ 外宮の豊受大神トクニミヤ トユケリ オホウミの~~~~~

~~~~~  
~~~~~ 天下~~~~~  
~~~~~ 神~~~~~  
~~~~~











廿三日... 風... 四日市...  
... 来名... 海路... 福島屋...  
... 船... 已... 每  
... 松の... 御城...  
... 伊夫伎の... 蔵...  
... 多度北山...

素名の海... 此風... 船...  
... 奥の...  
... 真院...

やら... 江戸人... 荒木寛  
... 絵師... 二條のみ...  
... 江崎亮存... 醫師... 本多  
... 信常... 家... 江戸...  
... 舟... 松...  
... 廿四日... 言の... 草...







野泉帖之端文

掛麻久母綾爾畏伎現御神登大八嶋國所知 天皇乃大

宮處遠津御代々々尔者 天皇乃大御意以是移佐礼希

留子玉敷平安大宮以處止定坐志余理御代々々中今尔

至麻傳膠木乃彌繼々尔五百津磐村乃如久不動不變安

御代能手長御世登弥榮尔采而無窮尔春每尔乎々理尔

乎々里咲花能盛奈流大宮處尔斯毛在祁礼娶物皆大海

乃八百重能潮乃満足用流奈倍尔皇京下乃靈遲波布神  
能神庫霜雪乃古寺尔上代能由縁在書等名多々流午師  
乃筆跡神寶何持種々珍良那苗乎海若乃澳津宮能真珠  
成可怜寶底寶登齋持有奈母九波那里家留故是以吾遠  
津汾海國濱松那流引馬御城所領 殿之命伊 皇我朝  
廷乎守護良須司尔任随意今如坎御京尔百磯城乃大宮  
近久坐々而明淨御心以互仕奉良斯将石上奮事思雅心

副厚久坐々者殿人小田切敏止田口朋良尔專命賜互彼  
底寶乎坎處彼處許々太久爾覓出潜出互川上乃列々椿  
都婆良加尔書列而其跡不違令寫而棚機之五百機立而  
織機能綾錦奈須甚美麗久摺卷尔那毛令成賜祁流抑坎  
雅事者志毛一年押照難波能大城司尔坐々時御執乃波  
士弓能始互思起賜而野泉帖登疏賜留二卷奈母鳴之速  
贊速久成出来怒流乎曾礼繼志賜布書卷尔志在祁礼晏





